

## 2013(平成25)年度事業計画の概要

大学全入時代を迎え、高等教育機関を取り巻く競争環境は一層激しさを増している。また、社会構造の変化や価値観の多様化が進む中、高等教育機関が果たすべき役割は高度化している。このような環境の中、学校法人龍谷大学は、「龍谷大学」及び「龍谷大学短期大学部」が展開する「教育」、「研究」、「社会貢献」等の活動を通して、社会の要請に応える人材の養成に努めるとともに、学術文化の振興や科学技術の進展に寄与していかなければならない。

龍谷大学及び龍谷大学短期大学部では、1975年から長期的な計画に基づき、新たな社会的要請を踏まえながら大学運営を行っており、これまで4次に渡る長期計画を策定し、それぞれの時代に応じた大学創造に取り組んできた。2010年度からは、以降10年間の本学の行動計画として「第5次長期計画」を取りまとめ、2020年の龍谷大学像を明確に示し大学運営を行っている。そのような中で、2013年度には主に次のような事業を計画し、積極的に諸事業を推進する。

第5次長期計画について、これまで前半期に「第1期中期計画」として取り組んできた諸事業の進捗状況や課題等を把握するとともに、改革内容を総括し、後半期に展開する「第2期中期計画」の策定に取りかかる。中でも、第5次長期計画における重点課題のひとつである「農学部を設置(2015年4月予定)」については、翌年度に設置認可申請等の行政手続きを控えていることから、カリキュラム編成等の教学内容を確定させるとともに、教員体制の構築や施設設備等の整備等についても準備を進めていく。また、もうひとつの重点課題である「国際文化学部の深草キャンパス移転」については、移転後の国際文化学部と深草キャンパスの既存学部等との連携方策について、これまで検討を積み重ねてきた内容を踏まえ、新たな教学展開の具体化を図る。さらに、国際文化学部の深草キャンパス移転を契機とした「多文化共生キャンパスの実現」を図るため、本学における新たな「国際化ビジョン」を取りまとめ、グロ

ーバル化に対応した取り組みを順次実施していく。加えて、これらの取り組みを推進するため、深草キャンパスの周辺に新たな留学生寮を整備するとともに、国際文化学部の移転にも対応した新1号館の建設を進めていく。

学生支援の観点からは、雇用・就職環境が引き続き厳しい状況になると予測されることから、本学の「キャリア支援の方針」に基づき、キャリア教育と進路・就職支援を推進し、学生と企業とのマッチングの強化やU・Iターン就職に関する支援に取り組んでいく。また、大学教育において学生の人格形成や人間的成長を図るために重要となる課外活動について、今後も積極的な支援を行う。中でも、重点・強化サークルへの支援や課外活動学生への奨学金制度について見直しを図り、新たな取り組みを行うなど支援を充実する。また、「教育」、「研究」と並ぶ大学の重要な使命である「社会貢献」について、地域社会と連携してその取り組みを推進する。深草キャンパスの位置する深草地区において「深草町家キャンパス」を整備し、「町家」の利活用を通じて地域社会と連携を図りながら、本学の教育・研究活動による成果や学内資源を地域に還元し、地域と共に発展する大学をめざす。さらには、本学の資金運用のひとつの方策として社会的責任投資(SRI)を行い、地方自治体や民間企業とともに「地域貢献型メガソーラー発電事業」に取り組んでいく。

さらに、2012年度に本学の新たなロゴマークやスローガンを定めるなど、これまで推進してきた本学のブランディング活動について、そのブランドコンセプトに基づき、長期的にブランドを維持できる仕組みを構築するとともに、新ブランドにかかる浸透活動の強化に取り組むこととする。

2013年度には、これらをはじめとして、各部局が一体となって「第5次長期計画」の推進に向けた諸事業を実施・展開し、龍谷大学及び龍谷大学短期大学部の設置理念の具現化を図ることとする。

